

～カンムリウミスズメに象徴される

瀬戸内海に残された最後の生物多様性の高い長島の生態系を守る～

「埋立てありきのエセ調査」を許さない！！中国電力への抗議行動にご協力を！！

- ★中国電力はカンムリウミスズメのニセ専門家を使った「埋め立てありき」のエセ調査をやめてください！！
- ★カンムリウミスズメについて、複数の専門家による「公明性・透明性・科学性」を持つ調査を即刻開始してください！！
- ★貴重な生態系を持ち、カンムリウミスズメの繁殖の可能性もある田ノ浦の埋め立て許可申請を即刻取り下げてください！！

抗議の声の送付先：中国電力 〒730-8701 広島県広島市中区小町4-33
TEL 082-241-0211 FAX 082-523-6185
<http://www.energia.co.jp/>

6月17日に中国電力が公有水面埋め立て許可申請を山口県に提出

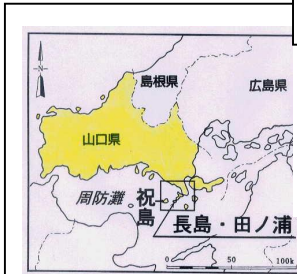
2008年6月17日に中国電力は上関原子力発電所建設のための公有水面埋め立て許可申請を山口県に提出しました。しかし、埋め立て予定地である田ノ浦はカンムリウミスズメの繁殖の可能性が指摘され、ナメクジウオ・ヤシマイシン近似種・スギモクなど枚挙にいとまないほど希少な生物が生息し、世界的に貴重な生態系を持つホットスポットです。

5月初旬～6月上旬、世界的な希少種であるカンムリウミスズメを確認

「長島の自然を守る会」は山口県熊毛郡上関町長島沖の海上において、カンムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* (チドリ目ウミスズメ科) を確認しました。6回の調査のうち5回で、いずれも複数羽を確認しました。



撮影：木村路子（長島の自然を守る会）



カンムリウミスズメ
確認地点



祝島

田ノ浦
埋め立て
予定地



撮影：木村幸子（長島の自然を守る会）

カンムリウミスズメは日本の海鳥の代表種で、国際的に強く保護が叫ばれている保護鳥

カンムリウミスズメは日本特産種で、推定生息個体数が最大でもわずか約10,000羽とされ、世界のウミスズメ類の中でも極端に生息個体数が少なく、かつ最も絶滅に瀕している海鳥とされています。そのため国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストでは、日本で繁殖する海鳥の中でアホウドリ *Phoebastria albatrus* と同一ランクの Vulnerable（危急）種に指定されています。このようにカンムリウミスズメは日本で最も緊急に保護が必要とされている海鳥であり、また日本の海鳥の代表として強く保護が叫ばれている国際的な保護鳥です。しかし、繁殖期以外

は常に海上で生活し、岩の隙間などの小空間で営巣するなど、普通に見られる鳥類とは大きく異なる極めて特異な生態を持っています。そのため、生息状況が極めて把握し難い種類でもありません。(2008年7月2日要望の日本生態学会自然保護委員会要望書より抜粋)

上関原発予定地改変区域内で繁殖の可能性

複数の実績のあるカンムリウミスズメの専門家が、「カンムリウミスズメが原子力発電所予定地の改変区域内で繁殖している可能性がある。」と判断しています。そのため、日本生態学会自然保護委員会は、「これまでにカンムリウミスズメの巣や卵等を見て繁殖を確認した実績を持ち、本種の営巣環境と繁殖生態に精通した研究者の参加を得て、さらなる調査を重ね、将来の潜在的な生息可能性をも含めた十分な保全計画をたて、影響評価を実施して下さること」を要望しています(2008年7月2日要望書より抜粋)。

企業の社会的な責任をはたしていない中国電力(株)の調査の現状

ところが、日本最大の生物系の学会である日本生態学会の申し入れに対し、中国電力は、「予定地から十分距離があり、生息環境に大きな影響を与えない」とし「今後、専門家から意見を聴く」と回答したと聞き及んでいます。しかし確認回数はたったの1回で、また中国電力が意見を聞いたという「専門家」は、これまでカンムリウミスズメも含め鳥に関する論文等を自分で書き発表した実績がまったくなく、日本鳥学会の主要な関係者に聞いても名前もほぼ知られていない、まったく実績のない「専門家」であると判明しました。

20~30年位前ならともかく、現在は社会の共有の財産である自然を守るための生物多様性条約を日本も批准していますし、企業が法律に基づき、関係者の誰もが納得のいく専門家を付け、きちんとした科学的な環境アセスメントを行い、きちんとした保護策をたて自然環境との共存をはかり事業を実施することは、現在すべての企業の社会的な責任であるといえます。今回の現状からは、中国電力(株)は、社会に対し本来果たすべき企業の社会的な責任をまったくはたしていないということがいえます。

科学的な調査と埋め立て許可申請の取り下げを求めます。

以上のことから、私たちは、中国電力(株)が埋立てをあせるあまりに、事実隠蔽や誤認を犯し、企業の社会的な責任をはたすことなく、例えばカンムリウミスズメの生息や繁殖を脅かし、世界的な希少種のひとつの繁殖地をつぶしてしまうなどの取り返しの付かない結果を招くことを非常に懸念しています。まず各部門の実績のある専門家を招き、透明性のある科学的な環境アセスメント調査を行い、その評価の上に立って、保護策が論じられることが、すべてのスタートであると考えます。

また、カンムリウミスズメに象徴されるように、埋立ての予定地である長島の田ノ浦が、世界的にも貴重な生態系を有する、国内でも有数の非常に生物の多様性の高いエリアであることが判明したことから、中国電力(株)の公有水面埋立て許可申請取り下げを要求します。

★一人でも多くの方の抗議の声を、全国・全世界から中国電力に集中してください!!

連絡先；長島の自然を守る会 代表 高島美登里 〒747-0063 防府市大字下右田 387-14 TEL 090(8995)8799,FAX 0835(23)1891, E-mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp
--